

ゴンドウ ヨシツグ

権藤 良嗣

都議会議員 酒井大史 秘書



本号のテーマ

進化し続ける立川を創る 民間企業での勤務経験を活かし

公認
決定

立憲民主党は6月19日執行の立川市議会議員選挙に向けて、酒井大史都議会議員秘書・権藤良嗣さんを公認候補予定者として決定しました。以下、権藤良嗣さんの経歴・主張をご紹介します。

立川発 観光拠点でわくわく活力あるまちへ

立川駅には、エキュート立川3階に「東京観光情報センター多摩」があります。また滞在型ホテルも新設されるなど、立川市は多摩地域の観光拠点としてのポテンシャルが高いといえます。

新型コロナ禍前は、インバウンドも多く訪れていましたが、バスで着て、立川に宿泊し、山梨など他の地域へ観光で移動する。単に一時滞在の宿泊拠点でしかありませんでした。

地域活性化のため、多摩地域の観光ルートを近隣市とも連携して開発し、立川に滞在して多摩地域を周遊できるような「泊まって、楽しむまち立川」を推進したいと考えています。

裏面に詳しく記載しますが、酒井都議が提唱している「南武線の羽田空港ダイレクトアクセス」も西国立駅や立川駅利用者、広く多摩地域の利便性向上につながるプランとして推進していくべきと考えています。



出典：東京都産業労働局 HP

立川病院跡地活用は、羽衣・錦・立川のポテンシャル



そして、西国立駅西側エリアには立川病院跡地（国有地）が広がっています。近くにはホテルも建設中であり、南口エリアの新たな観光拠点や文化施設などの誘致も可能ではないかと考えています。酒井都議とも連携して提案してまいります。



つくる。新時代立川！

羽田空港ダイレクトアクセスを共に！

「羽田空港ダイレクトアクセス」プランは南武線の活用で、西国立駅利用者（羽衣町・錦町）のみならず、立川市民、広く北多摩・西多摩・南多摩地域の住民の利便性向上につながります。

近年では、東京都商工会連合会も羽田空港へのアクセス向上を要望しています。

酒井都議の市長選時の政策（ホームページより抜粋）

立川市から羽田空港へのアクセスは、自家用車、空港バス、JR 中央線・山手線経由京浜急行線あるいはモレールを利用する方法が一般的ですが、いずれの場合も、1時間半～2時間を要し、大変不便な状況です。

そこで、南武線、南部支線、東海道貨物支線などを利用し、立川から羽田までのダイレクトアクセスの実現を考えています。

この提案は、実現すれば、立川から羽田まで約50分程度でのアクセスが可能となり、立川と国内各都市あるいは世界との距離が一気に縮まります。

もちろん、実現には、南武線の高架化や地元自治体のまちづくり、JR の計画など多くのハードルがあり時間の要することは承知していますが、次世代の立川市民のみならず多摩地域住民のためにも沿線市に呼びかけ、関係機関に強く働きかけていきたいと考えています。



私たちはゴンドウ ヨシツグさんを応援しています。

権藤君は埼玉西武ライオンズ事業部のマネージャーや整形外科医の衆議院議員・歯科医の参議院議員秘書を経験してきました。

私も4年間都議会を離れ、行政書士や訪問介護事業など複数の仕事を経験したことで、行政における課題や新たな知見を得ることができ、ブラッシュアップにも繋がりました。



現在、私の秘書として活動する権藤君を市政に送り、3年前の市長選挙で私が掲げた政策の実現に向けて道筋をつけていきたいと考えています。是非、権藤君の活動にご注目ください。

東京都議会議員 **酒井 大史**

今回、立憲民主党は立川市議会議員選挙に向けて、現職2名に新人3名を合わせ、5名の公認候補予定者を決定しました。

新人予定候補はそれぞれ経験を積んできた逸材です。

権藤良嗣さんは、民間企業での勤務経験、国会議員秘書経験、さらには立川の街を知るため、個人事業主として配送業にも携わり、現在は酒井都議の秘書をしています。

酒井都議とタッグを組み、政策にも磨きをかけている権藤さんを自信をもって応援します。

衆議院議員 **大河原 まさこ**



プロフィール

1974年（昭和49年）3月13日生、48歳・寅年 0型

広島県立広島国泰寺高等学校

青山学院大学経済学部経済学科

株式会社デンソー（現デンソーソリューション）

株式会社西武ライオンズ 事業部 マネージャー

衆議院議員公設秘書、参議院議員秘書

現在：都議会議員酒井大史秘書、個人事業主（運送業）

趣味 プロ野球観戦、食べ歩き、温泉めぐり、サウナ

動物好き（モルモット）

ホームページ：<https://gondou.net>



4年前の市議選では、1千人近い方々にご支援頂くも惜敗しました。この間、家業を営むと共に、酒井都議と共に訪問介護事業所を立ち上げ福祉事業にも携わっています。

今回、私は出馬を見送り、権藤さんを現場主義を受け継ぐ、後継者として応援しています。

立川市議会第63代副議長

梅田 春生



連絡先 立川市曙町2-34-6-803 都議会議員酒井大史事務所内
TEL 042-528-6522 FAX 528-6525 gondou@sakai-tachikawa.tokyo